

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 30日

【評価実施概要】

事業所番号	0174100602		
法人名	有限会社ウェルネス		
事業所名	グループホームあいこく		
所在地	釧路市愛国東1丁目27番8号 (電話) 0154-37-4165		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年9月28日	評価確定日	平成19年10月30日

【情報提供票より】(19年9月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成16年10月14日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 14人, 非常勤 5人, 常勤換算	12.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 490 円
	夕食	490 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,280 円		

(4) 利用者の概要(9月5日現在)

利用者人数	16 名	男性 8 名	女性 8 名
要介護1	4	要介護2	4
要介護3	6	要介護4	1
要介護5	0	要支援2	1
年齢	平均 78 歳	最低 60 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さい内科クリニック・釧路脳神経外科病院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は閑静な住宅街に位置し、安全に配慮され利用者が落ち着いて生活できるような造りになっている。事業所周辺には花・野菜畑があり、利用者と地域住民がともに収穫や草取りを楽しんでいる。また、職員は利用者から教えてもらう場面が多く、日々支えあいながら生活している。運営者は人材育成にも熱意を持って取り組んでおり、職員が意欲的にケアサービスを行えるような環境づくりに努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題であった地域との交流について、冬季には地域住民と職員と一緒に除雪を行ったり事業所行事に近隣住民を招待するなど、改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>意見交換を行いながら全職員で自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では行事や防災・災害訓練等について報告し、事業所の運営について活発な意見交換を行っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>電話・FAX・郵送等で苦情相談受付を行っている。また、来訪時や運営推進会議においても家族が気軽に意見・苦情等を伝えやすい雰囲気づくりを心がけている。家族から意見等を受けた際はすぐに対応するよう努めている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>2ヶ所の町内会に加入しており、ゴミ拾いなどの町内活動に参加したり事業所の行事に近隣住民を招待するなど、地域との交流を図っている。また、犬の散歩時に挨拶を交わしたり会話するなど日常的に接する機会を設けている。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	全職員で話し合い、利用者が地域で安心・安全な暮らしができることを盛り込んだ独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンス時に全職員で理念について話し合い、日々実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	当事業所は2つの町内会に加入しており、事業所の行事には必ず近隣住民を招待するなど地域との交流を積極的に図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で話し合い、前回評価での課題について改善に取り組みながらケアの質の向上を目指している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開催しており、事業所の運営状況や行事予定等を報告し、そこで出た意見を事業所の運営に活かしている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者に定期的に事業所の報告や相談等で連絡を取っており、ともに質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所便りにて利用者の日々の暮らしぶりや健康状態等を家族に報告している。また、来訪時にも家族に近況報告を行い、利用者の身体状態に変化があった場合は電話にて伝えている。また、3ヶ月に1度金銭出納についての報告を行っている。	○	金銭出納について、今後は月に1度報告する事を検討中である。また、職員異動の際にも家族に伝える取り組みが期待される。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話・FAX・郵送にて苦情相談受付を行っている。また、職員は来訪時や運営推進会議においても家族が気軽に苦情・相談等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動が少なく、利用者が安心して落ち着いた生活ができるよう配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は段階に応じた外部研修に参加する機会を設けており、職員は積極的に参加している。また、内部研修も定期的実施している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	全国・北海道・釧根グループホーム協議会に加盟している。全職員が研修や勉強会に参加して同業者と意見交換等を行い、日々のケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前に面談や見学会を行い、利用者と家族が安心・納得してからの入居となるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から調理や昔遊びなどを教えてもらったり、畑の収穫の際にはともに喜び合うなど支え合う関係が築かれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日常での利用者との関わり合いの中で、一人ひとりの思い・希望等を把握して、その人らしい生活となるよう努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>全職員でカンファレンスを行い、利用者本人・家族の意見や希望を採り入れた介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度の見直しを行っているが、利用者の身体状況の変化があった場合はそのつど話し合い、現状に即した介護計画となるよう取り組んでいる。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の送迎・犬の散歩・銭湯への付き添いなど、柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関への受診支援を行っている。また、家族とも情報を共有し、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>今のところ重度化や終末期に向けた方針を定めるまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、利用者本人・家族・職員・医師等で話し合っ方針を定め、情報を共有することが望まれる。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者のプライバシーを損ねることのないような言葉掛けや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いについてもカンファレンスにて話し合っており、適切に処理されている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の体調に考慮しながら散歩・買い物など、柔軟な支援を行っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量に応じて、事業所の畑で採れた野菜を使っでの調理や片付けなどを行い、利用者と職員が同じ食卓で楽しみながら食事を摂っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に応じた週に2回の入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事・花の手入れ・裁縫など、一人ひとりの好みに応じた楽しみ事や気晴らしの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	美容室・喫茶店・外食など、利用者の希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけておらず、職員が見守りながら利用者の生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回防災訓練を実施しており、防災マニュアルも整備している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量を把握しており、また、補助食を用意するなど一人ひとりに応じた栄養バランスが確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく家具などの配置にも工夫され、玄関に畑で採れたカボチャが置かれるなど、生活感や季節感を感じられるような配慮がなされている。また、臭い・音・光にも配慮されており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物が持ち込まれており、利用者が安心して過ごせるような工夫がなされている。		

 は、重点項目。